



2006 2007
Gifu North R.C.



岐阜北週報

WEEKLY REPORT

1178

例会 毎週水曜日 題字 小森 保敏
会場 岐阜都ホテル 岐阜市長良福光桃林 2695
tel 295-5222(代)
事務所 岐阜商工会議所 (岐阜市神田町2) tel 264-9235(代)

会長 小森 保敏
副会長 岡田 忍
幹事 永瀬 章
会報記念誌委員長 谷田 育子

<http://gifukita-rc.com>



平成 18 年 9 月 27 日 発行

9 月 青少年育成 月間

本日のプログラム

第 1179 回例会 9 月 27 日 (水)

卓 話

担当 三島 隆雄 会員

神谷 良子 会員

第 1178 回例会 9 月 20 日 (水)

クラブフォーラム (4) 100 万 \$

担当 社会奉仕委員会

➤ 点 鐘

➤ ローターソング「それでこそロータリー」

ありがとうございました。



ビジター紹介 親睦交流委員会

- ・若松学園 園長 柏木 満美子 様
- 川島 博雄 様
- 矢島 初美 様
- 宇野 あつ子 様
- 阿部 絵美 様

会長挨拶 小森 保敏 会長

一言ご挨拶申し上げます。本日は、社会奉仕委員会の担当でクラブフォーラムです。担当委員長よろしくお願ひします。

ところで、本日は枕について話したいと思ひます。疲れをとるにはぐっすり眠るのが一番。そして快適な睡眠のためには自分に合った枕を使用することが大切で、店頭には快眠をより追及する枕である機能枕が並ぶが、形状や素材はさまざま。人生の三分の一にあたる眠りの時間をともにするだけに、最適な枕を選びたいものである。

朝起きた時に首が痛いとしたら、自分に合わない枕を使用している可能性が高い。枕選びの最大のポイントは高さである。立った時と同じような呼吸ができる高さが理想とされている。

快適な睡眠に対するニーズの高まりの反映して、昨年の枕市場は 816 億円と 1996 年に比べ 3 割も伸びている。ゆっくりと沈んでゆっくりと反発するウレタン製の低反発枕など、より快適な睡眠を追及する機能枕が、これからもますます人気を集めそうであると言ふことをご紹介申し上げまして挨拶といたします。

出席報告 出席委員会

本日のホームクラブ	36 / 39	92.30%
-----------	---------	--------

本日のホームクラブ 欠席者 3 名

小島正三君・水川渥君・山口八郎君

委員会報告

親睦交流委員会 松野 秀計 委員長

来月の親月例会の御案内をいたします。10月14日(土)石金さんの方で、18時より執り行います。是非、参加の方宜しく御願ひします。締切りですが、9月27日(水)例会時に7,000円の会費を添えて、親睦交流委員会の方まで提出の程宜しく御願ひ致します。

尚、9月23日(土)今週末氷見ロータリークラブの方へ合同例会に参加される16名の方宜しく御願ひいたします。

ニコニコボックス 安藤 武司 会員

*若松学園 園長 柏木満美子様...本日、御招待いただきました。

*相宮貞雄君...長野さんの顔のみて。

*岡田忍君...今日も元気に出席出来ました。

*岡田一二三君...若松学園の皆様ようこそ。

I.G.M活動報告 松野 秀計 会員
 I.G.M出席者 神谷会員、長野会員
 安藤(武)会員、原尾会員
 三島会員、安藤(紳)会員
 情報委員から久世会員、若山会員

計9人で行いました。

今回のI.G.Mは

テーマ「親睦・姉妹クラブ・出席について」

I.G.Mとは会員宅を持回りして、少人数で開く懇話会であり、話題は特にロータリーに限定する必要はありませんし、むしろ親睦を深めるための会合と考えた方がよい。

公式な会合ではなかなか言い出せない初歩的な質問など、気易くきりだせるよう、炉辺談話の形式にするとよい。

「親睦」はしばしば「親睦会」や「同好会活動」と混同されますが、これらは「親睦」を深める手段であってここで言う「親睦」そのものではない。会員交互の切磋琢磨によって奉仕の心が育てられていきます。ロータリーでは、この一連の作業のことを親睦と呼んでいます。

一人一業種で選ばれた、さまざまな職業に従事する人達が毎週の例会に集まって、何でも語り合える友情にあふれた雰囲気の中で、お互いの事業上の発想の交換や、職業倫理の高揚や、人のため世のため何をすべきかを語り合って、お互いの自己改善を図っていきます。

ロータリアンには卓越した事業の専門家がいましく、豊かな人生経験を持った人や高い倫理観を持った人がいますので、討議する内容に従ってある時は師となり、ある時は徒となってクラブ例会を通じて、団体で人生を学びます。



例会行事 クラブフォーラム(4)

ゲストスピーカー

若松学園 園長 柏木満美子様

只今、ご紹介に預かりました柏木でございます。日頃から、皆様方においては、暖かい御理解と御協力ありがとうございます。

本日は、岡田様の方から若松学園の子どもたちの状況等をお話して頂ければありがたいという事でしたので、本日5名の職員、幼児・小学生・中学生の担当職員で参加させて頂きました。

若松学園においては、30余年にもわたり、子どもたちの為にキャンプの行事、学園等のバザー用品、寄付、クリスマスプレゼント等、子どもたちの為に長年に渡り支援して頂いております。ありがとうございます。

それでは、少し施設の事をお話しますと、定員が40名に対して、39名が入所生活をしております。職員は18名で担当しております。その90%が虐待児童であります。子どもたちの心のケアという事が毎日四苦八苦しております。子どもたちの健全な育成の為に日頃の皆様方のご協力、御支援本当にありがとうございます。では、それぞれの現場の職員による子どもたちの様子などを聞いて頂きまして、御理解頂ければ幸いです。

私は、若松学園の川島でございます。会場に参りまして懐かしいお顔ばかりです。ほん施設は、昭和26年1月1日に創立しました。50余年の歴史があります。575名の子どもたちが巣立って行きました。高度成長時代、バブルがはじけて、世の移り変わりによって、本当にさまざまな問題を抱えた子どもたち。協議離婚をしたり、片親であったりして、親がいない現実。巷でマスコミ、ニュース等で毎日のように報道されている児童虐待、まだ、岐阜県は幸いにして子どもの命がなくなると報道はされていませんが、それに近い状況の家庭が多い。

身体的虐待、肉体的、生理的含めて、放任保育放棄の子どもたちの心のケアをいかにしていくのか？我々の目的なのですが、早期に家庭に復帰させる事が、我々の大きな役割であります。我々職員は、なかなか親にはなりきれませんが、いかに親にとってかわれるか、いかに本当の家庭に近づけるかを、日々施設として努力しております。そういう中で、子どもたちの自立支援を目標に日々、頑張っております。

2才～16才までの子どもたちを預かっておりますので、何とぞ、今後とも御支援の程、宜しくお願い申し上げます。



- 閉会の辞 岡田 忍 副会長
- 点 鐘

次回例会のご案内 10月4日(水)

- ・ 慶祝行事
- ・ 卓話「フランチャイズビジネス
コンビニとは」

担当 安藤 紳一郎 会員
安藤 武 会員

担当/クラブ会報委員会 安藤 紳一郎